

10. ジョブシャドウィング

概要と特徴

インターンシップの実施に関しては、まだノウハウがないという理由で実施に至ることのできない中小企業が多くある中、その解決策として「ジョブシャドウイング」という手法を提案し、県内中小企業に普及させたいと考え、ガイドブックの配布など希望する企業に向け実施、推奨している。

プロジェクトでは、12月に実施した「企業の魅力発表会」に審査員として参加した学生と千葉経済大学との連携により1月に実施した「プレ・インターンシップ登録会」に参加した学生を対象に、ジョブシャドウイング方式による1日職場体験プログラムを提供した。いずれもリクルーター養成ゼミで学んだ自社の魅力をどのように発信していくかに取り組んできている企業である。

※ジョブシャドウイングとは

ジョブシャドウイングは、半日～1日間、「働いている人（ジョブ）」に就職予定の生徒・学生が「影（シャドウ）」のように付き添い、仕事の内容や職場の様子などを逐一観察する職業体験の手法。インターンシップとの違いは、長期間仕事を体験させるのではなく、短期間に働いている人をひたすら「観察」し、リアリティを伴ってその職業を実感させることにある。ひたすら目まぐるしい日常業務を観察させることがポイントである。

実施内容

～参加募集方法～

- 1) 12月に実施した企業の魅力発表会において、審査学生を対象に、企業プレゼンを聞き興味をもった企業へのジョブシャドウイングおよびインターンシップの参加を募った。企業へ該当学生の情報を提供し、日程調整を行った。
- 2) 1月に実施したプレインターンシップ登録会において、ブース訪問をし、興味をもった企業へのジョブシャドウイングおよびインターンシップの日程調整を行った。

～参加企業数と対象学生、参加学生数～

| | 実施企業数 | 対象学生数 | 参加学生数(のべ) |
|------------------|-------|-------|-----------|
| 1) 企業の魅力発表会 | 11社 | 20名 | 5 |
| 2) プレインターンシップ登録会 | 8社 | 10名 | 3 |

◆実施企業と学生

1) 企業の魅力発表会

| | 実施企業名 | 学校名 | 性別 | 学年 | 実施日 |
|---|---------------------|--------|----|----|-------|
| 1 | 株式会社 新栄 | 千葉商科大学 | 男 | 1 | 2月5日 |
| 2 | | 敬愛大学 | 男 | 3 | 2月10日 |
| 3 | 社会福祉法人 永春会 | 千葉経済大学 | 男 | 3 | 1月9日 |
| 4 | 株式会社 サイプレス ソリューションズ | 千葉商科大学 | 男 | 3 | 3月16日 |
| 5 | 株式会社 ストラス | 敬愛大学 | 女 | 3 | 2月20日 |

2) プレインターンシップ登録会（千葉経済大学）

| | 実施企業名 | 学部 | 性別 | 学年 | 実施日 |
|---|------------------|-------|----|----|-------|
| 1 | 株式会社 トヨタレンタリース千葉 | 経済学部 | 男 | 2 | 2月17日 |
| 2 | | 経済学部 | 男 | 2 | 2月17日 |
| 3 | | 短期大学部 | 女 | 1 | 2月10日 |

実施企業のコメント

1) 企業の魅力発表会

- ・そもそも一般の大学生から介護職に興味を持っていただくことが奇跡に近いと考えていますので、1名でも参加してくれたことが収穫だと思います。今後は、福祉を学んでいない学生にも就職先として選んでもらえるような魅力ある職場になるよう考えていきます。
- ・参加したいと回答した学生リストでは9名の学生がいたが、実際に参加したのは2名であり、魅力発表会がインターンシップ集客につながるとは断言しがたい。
- ・普段3年生と接する機会が多いので、中々接する機会が少ない1年生とお会いできたことは、貴重な体験でした。ありがとうございました。

2) プレインターンシップ登録会

- ・登録会での学生との接触数は2名と少なかつたものの、お友達も誘ってくれて計3名の受け入れができました。今後も開催があればぜひ参加したいです。
- ・こういった取り組みは学生にとっても企業にとっても意義のあることなので、継続してほしいです。

成果と課題

企業の魅力発表会からのジョブシャドウイング、インターンシップへのマッチングについて、昨年度事務局で実施した学生との日程調整を、今年度はよりスピーディーに結びつけるため、直接企業側に実施してもらった。

プレインターンシップ登録会と同様に事務局やキャリアセンターを通じてではなく、企業と直接マッチングを実施したことにより、登録会に参加した学生が友人を連れてくるというケースが発生した。企業が直接実施したからその成果であると考えられる。

また企業インターンシップの受入カリキュラムを作成するにあたっては、ジョブシャドウイングをそのまま取り入れた企業もあれば、自社のカリキュラムの中に一部組み込んだという設計もあるという状況が確認できた。（右図グラフ）ノウハウの少ない中小企業がカリキュラム作成において、ジョブシャドウイングを認識し、導入している状況が分かる結果となっている。

取り入れやすいスタイルであることから、継続的に紹介をしていきたい手法のひとつである。

実施企業のカリキュラムについて

